

地域協議会の権限などでも質問

3月議会における私の一般質問では、地域自治区の今後や地域協議会の権限などについても一般質問しました。今号ではその主な内容についてお知らせします。

【橋爪】14市町村が大合併して18年になった。地域の特徴や歴史伝統をしっかりと踏まえて発展させながら、地域の皆さん方の声を反映できる市政運営をしていこうということで、地域自治区を作り、地域協議会を作ってやってきた。新年度、新しい地域独自の予算をスタートさせるにあたって、お聞きしたいことが2つある。

一つは、市長がこれまで、何度か言及されてきた地域自治区の再編について、現段階でどう考えているかだ。もう一つは、地域協議会の権限についてだ。合併後18年経た今日、この権限が今のままでいいのかどうか問われている。市長の考えを聞きたい。

【中川市長】当市の地域自治区制度については、平成21年10月に全市28区へ導入するなど、平成の市町村合併以降、制度を運用してきており、一定の定着が図られているものと認識している。私は、人材確保の観点から、地域自治区の統合は一つの手法・可能性として考えているが、現時点においては、地域自治推進プロジェクトにおける検討事項の一つとして判断を持たずに検討していく。



【シジミバナ】バラ科の落葉低木。背丈は1㍎～2㍎。漢字で「蜆草」と書きます。別名、ハゼバナ。先日、用があって吉川区内のある寺院を訪れたら、ユキヤナギに似た感じだけど、どこか違う花があると思って、立ち止まりました。それがこの花です。花期は4月～5月。八重咲きの白い花を咲かせます。花言葉は「控えめだが可愛らしい」。写真は、吉川区内にて4月17日に撮影しました。

地域協議会の権限については、地方自治法に基づき、当市の地域自治区の設置に関する条例において、市長の諮問に対する答申及び、自らの発意に基づき自主的に審議した結果を、市に意見として述べる事ができると規定している。

このほか、地域協議会に対しては、地域活性化の方向性の策定を依頼してきたが、これは、その議論を通じて地域のことを考えることにつながり、地

今後、地域自治推進プロジェクトで検討を進めるに当たっては、諮問に対する答申と自主的審議の2つの権限を維持しながら、必要に応じて役割に応じた工夫や改善を図ってまいりたい



柏崎谷根の地層撮影に同行 米山、尾神岳の成り立ちを知るために

11日、米山や尾神岳の成り立ちを調べている地質の専門家グループ、米山団体研究会の大野隆一郎さんが柏崎市谷根の露頭（旧採石場跡地）をドローンで撮影してもらうというので、私も現地に足を運びました。

谷根には、これまで、野の花を探することを目的に一度しか訪れたことがありませんでした。米山湖の近くに地層が横に重なっているのではなく、縦に並んでいる（横の地層が90度傾いた）ところが見られるということは初めて知りました。

大野さんの説明によると、この地層は約300万年前のものだとのこと。こちら辺は海底だったところが隆起したものだと思っていたのですが、地層の一部には陸でなければできない赤色酸化した部分もあります。当時は、現在の小笠原諸島の海底火山と同じようになっていて、火山の陸上と海に沈んだ部分の境（波打ち際）だったのではないかとのお話でした。

地層には、海岸の丸い「れき」も見られます。これは海底火山の陸上で土石流が発生し、土砂などが海中に滑り落ちたときに、岩礁海岸の「れき」を巻き込んだものではないかとのことでした。土石流は陸上だけでなく、海中でも発生しますが、海中は陸上より角度がゆるくて必ずしも

露頭周辺には、いろんな植物があります。岩肌にはミヤマアワガエリが花を咲かせていましたし、キリンソウの茎が20㍎ほどに生長していました。遅くない時期に岩肌は黄色い花でいっぱいになるはず

ドローン撮影の結果、これまでわからなかったことが確認されるかも知れません。画像の分析結果については、教えていただく予定です。

はしづめ法一の 活動レポート

No.2107 2023.4.23
発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp
URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ
「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一 検索

春よ来い

第七五四回

麻の葉模様

これっ、私が母に贈ったものなんです。そう言って恵さんが紙袋の中から取り出したのは麻の葉模様の腕力バーでした。

紙袋は浦川原区の老人保健施設、「保倉の里」でスタッフの方から私が預かってきた「岩佐のおばさん」の遺品のひとつです。そこには施設で暮らしていたおばさんの笑顔いっぱいの写真、楽しい塗り絵作品などが貼られたアルバムが数冊、娘さんの恵さんから届いた手紙、日記などが入っていました。

保倉の里から「岩佐のおばさん」が亡くなったという知らせを聞いたのはこの間の日曜日の夕方です。柏崎市議選の応援から帰った直後でした。おばさんの家は長期間空き家となっていたので、自宅での葬儀は無理と判断し、最初からJA虹のホールがおがたでお世話になることにしました。

東京在住の恵さんがJA虹のホールにおがたに到着するまで三時間ほどありました。保倉の里で受け取った紙袋の一角に布があることは分かっていたのですが、この間に葬儀屋さんやお寺さんがおいでになり、私が対応しましたので、その布が何かを確認する余裕はありませんでした。

恵さんがJA虹のホールにおがたに到着したのは午後一〇時半頃です。約四年ぶりに母親と対面した恵さんは、「おかあさん、よく頑張ったね。ありがとね」と言って涙ぐみました。

少し間をおいてから、私は施設から預かってきた紙袋を恵さんに差し出しました。その後です。おばさんは小学校四年生の時から日記を書いていたこと、くも膜下出血で緊急入院した時に、この日記の記述が手術に役立ったことなどを恵さんは語ってくれました。

そして、紙袋から取り出したものが腕力バーだったのです。腕力バーをじみじみと見た恵さんは、「あさのはもよう、母が好

きなんです」と言いましたが、私には「あさのはもよう」という言葉がピンときませんでした。それでスマホを使って、「朝の葉模様」と入力し、検索したところ、「麻の葉模様」が出てきました。植物の麻の葉に似た六角形の模様、柄のことを言うのですね。画像を見ると、赤ちゃんの産着、座布団などでよく目にしていました。

麻は成長が早く、病気に強いのが大きな特徴です。この特徴を踏まえ、麻の葉模様には、子どもの健やかな成長や病気からの快復などの願いが込められているんですね。恵さんは、「私、これ、ミシンではな

く、ひと針、ひと針縫ったんです」とも言いました。化学繊維に弱いお母さんの腕を守りたいというのが直接的な動機だそうですが、「病気に負けないで生きてほしい」という思いが根底にはあって、腕力バーを縫い、お母さんに贈ったのだと思います。

亡くなった「岩佐のおばさん」は、一〇年ほど前、くも膜下出血で市内の病院に緊急入院し、手術の結果、奇跡的に助かったということがありました。数年前にも病気になる、同じ病院に入りました。そのときも病気に打ち克ち、再び保倉の里に戻るこ

とができました。いずれも病気に勝って、数か月後には退院し、家や保倉の里で暮らすことができるとなりました。

そういう経過があったから、「お母さんには病気に負けないでほしい」という思いが一段と強くなったのだと思います。恵さんからお母さん宛てに出した葉書を後で見せてもらいましたが、そこにも「お母さんが元気でいてくれることが私の一番の幸せです」と書いてありました。

恵さんは、母親の棺に、麻の葉模様が描かれた腕力バーとひざ掛けを入れることにしました。いずれも恵さんの手作りです。「岩佐のおばさん」のいつも笑顔は喜びの涙でくしゃくしゃにならないうつろい



上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	4月12日(水)	4月19日(水)
上越南消防署	0.053	0.053
上越北消防署	0.047	0.047
新井消防署	0.047	0.047
頸北消防署	0.047	0.057
頸南消防署	0.060	0.070
東頸消防署	0.050	0.050
名立分遣所	0.053	0.050
高士分遣所	0.057	0.050

祝ピアス結成5年目突入!



音楽グループ、ピアスの結成5年目突入チャリティーライブが15日、柿崎コミュニティプラザであり、行ってきました。会場には、上越市内各地、柏崎市などから80人ほどの人たちが参加しておられました。

私とピアスとの付き合いは、数年前にさかのぼります。同グループが吉川区の多目的集會場で行われた「ほっとホットコンサート」で歌った「あまだれ」という曲を上越有線放送の私の議会報告で使わせてもらいました。メンバーには頸北地域の

の人が何人もいたこともあって、それ以来、応援を続けています。

今回は何故か「別れの朝」など別れの歌が多かったのですが、ボーカルの内山雅子さんの抜群の歌唱力と華やかな演奏に酔いしれました。ゲストはSilkyblue。このグループの甘くて情熱的な歌を6曲も聴いたのは初めてです。まだまだ聴きたかった。

イラストは「ヤングマン」の歌の時の様子です。両グループが歌い、大塚さんや西脇さんなどが踊って最高の盛り上がりをつくりました。